



澤田 さわだ

裕之 議員
(蒼生会)



経済支援について

Q 学校給食費を少しでも助成する考えはあるか。

A 教育部長

昨今の物価高騰により食材費も大幅に値上がりしているため、令和4年度、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、学校給食費にかかる食材費を、小学校及び義務教育学校前期課程の児童1人につき月額336円(1食当たり約19円)、中学校及び義務教育学校後期課程の生徒1人につき月額385円(1食当たり約22円)増額し、保護者に負担増を求めることなく学校給食の品質確保を図っています。

現時点では学校給食費の助成については考えていませんが、令和4年度の物価高騰対策について、今後の物価高騰の状況、国の状況等を勘案し、その後、来年度以降の対応についても適切に判断していきたいと考えています。

その他の質問

☆少子化対策について



小倉 おぐら

健一 議員
(志翔会)



林地保全(伐採届出制度)について

Q 土砂の流出や崩壊が発生しないよう十分な林地保全への配慮が求められる。伐採届出時には伐採及び集材にかかるチェックシートの提出や搬出計画図、誓約書の提出をさせるようにすべきと考えるが、見解を伺いたい。

A 産業文化スポーツ部長

令和4年4月に、林野庁により伐採及び伐採後の造林の届出等の制度に関する事務マニュアルが改正され、伐採及び集材にかかるチェックリストや搬出計画書が、必要に応じて届出時に添付を求める書類として例示されました。本市においても、今後皆伐の場合にはチェックリストや搬出計画書の添付をお願いしていきます。

また、誓約書については、令和5年度に改正が進められている森林法施行規則の内容を踏まえながら、適切に対応していきたいと考えています。

その他の質問

☆災害対策について
☆佐野市消防団について
☆クビアカツヤカミキリ被害について



木村 きむら

久雄 議員
(公明党議員会)



※アドボケイトについて

Q 必要以上に叱責などをして厳しく育てようとするのは、大人が子どもを管理しやすくするためのものである。弱い立場に立たされ、意見を反映されないこともある子どもの立場だけに立ち、周囲の大人に対し意見を代弁するアドボケイトの養成ができないか伺いたい。

A 子ども福祉部長

子どもの声を聞き、意見表明を支援するアドボケイトの理念は、子どもの権利を保障する上で大切な役割を担うものと考えています。

養成については、現在民間団体で研究が始まった段階であり、本市として講座等を開催する予定はありませんが、アドボケイトの考え方を理解した職員や相談員が、子どもの権利に関する普及啓発活動や児童相談所等の職員との意見交換等を行うことにより、その理念が広まってくものと考えています。

その他の質問

☆環境政策について

※アドボケイトとは・・・

権利主張ができない子どもや障がい者、寝たきりの人などに代わり、その権利を代弁し、擁護する人のこと。